

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 三次元磁場配向 NMR によるセルロース生合成機構の全容解明
2. 研究代表者： 久住 亮介（森林研究・整備機構 森林総合研究所 主任研究員）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

強磁場 MOMS-NMR を開発し、生きた酢酸菌の構造解明を目指す挑戦的な課題である。
フェーズ 1 では、高精度・高感度のプローブを開発し、同時に手法の原理や精度について理論的に解析して有効性を示したことは評価できる。さらに酢酸菌のセルロース産生の挙動の測定にも成功した。フェーズ 2 は、生きた酢酸菌での構造解明に加え、酢酸菌の磁気トラップと天然セルロース繊維の性状制御も行う挑戦的な計画となっており期待できる。

以上